

日産自動車株式会社

横浜臨海部の主な事業所

- ◆ 横浜工場（神奈川区宝町、鶴見区大黒町）
- ◆ 本牧専用埠頭

脱炭素分野の取組

主に対象とする脱炭素分野（グリーン成長戦略の重点 14 分野との対応）

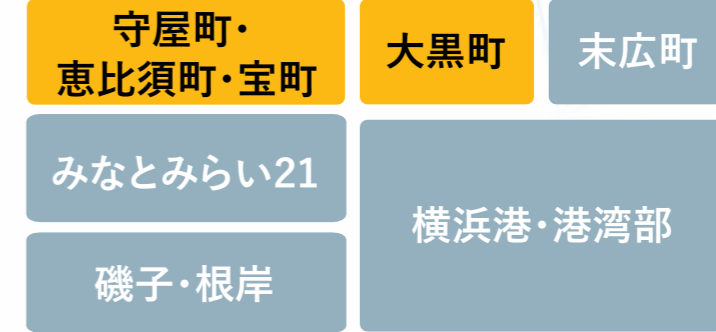
⑤ 自動車・蓄電池

⑬ 資源循環関連

取組概要

日産自動車は、グローバル自動車メーカーとして、2050年度までに製品のライフサイクル全体でカーボンニュートラルを実現するという目標を掲げています。2021年11月には「Nissan Ambition 2030」を発表し、今後5年間で約2兆円を投資して車両の電動化を加速する方針や、2028年度までに自社開発の全固体電池を搭載したEVを市場投入する意向を示しました。EVバッテリーを活用した包括的なEVエコシステムの構築にも取り組んでいます。更に、生産工場では生産技術のインテリジェント化を進め、脱炭素化社会に向けた次世代のクルマづくりを推進していきます。

横浜工場では、エンジンユニットやサスペンションの他、電動車両の要となるモーターユニットの生産を行っています。2024年度までに同工場内に全固体電池のパイロット生産ラインを導入する方針を発表しており、今後は量産に向けた取組も推進していきます。



カーボンニュートラル実現に向けた取組方針